



平成31年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月6日

上場会社名 株式会社 THEグローバル社
 コード番号 3271 URL <http://www.the-g.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 永嶋 秀和
 (氏名) 岡田 一男
 TEL 03-3345-6111

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年6月期第1四半期の連結業績(平成30年7月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年6月期第1四半期	3,757	11.3	428		673		482	
30年6月期第1四半期	4,237	8.0	307		419		298	

(注) 包括利益 31年6月期第1四半期 470百万円 (%) 30年6月期第1四半期 295百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年6月期第1四半期	35.70	
30年6月期第1四半期	22.15	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年6月期第1四半期	50,737	8,511	16.6	624.71
30年6月期	45,881	9,320	20.2	684.51

(参考) 自己資本 31年6月期第1四半期 8,444百万円 30年6月期 9,252百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年6月期		0.00		25.00	25.00
31年6月期					
31年6月期(予想)		0.00		25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年6月期の連結業績予想(平成30年7月1日～平成31年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,099	17.1	911		1,261		846		62.59
通期	47,863	23.5	4,216	1.4	3,396	4.1	2,256	12.5	166.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年6月期1Q	13,517,400 株	30年6月期	13,517,400 株
期末自己株式数	31年6月期1Q	76 株	30年6月期	76 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年6月期1Q	13,517,324 株	30年6月期1Q	13,469,063 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束するものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。業績の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、[添付資料]3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(以下、「当第1四半期」といいます)におけるわが国経済は、大型台風や北海道の地震等の自然災害を要因に、輸出や生産において一部弱含み傾向がみられますが、企業収益は堅調持続、また雇用・所得環境、個人消費の改善も継続しており、景気は回復基調で推移しました。

当社グループが手がけるホテル業界におきましては、西日本豪雨や地震などによる自然災害による空港の閉鎖や航空便の欠航の影響により、9月の訪日外国人数は前年同月比5.3%減少(5年8ヶ月ぶりに前年同月を下回る)しましたが、延べ宿泊者数は前年同月比13.1%増加と堅調に推移しております。

このような状況のもと、当社グループでは、東京・京都での更なる用地仕入の強化、取得のほか、広島駅前エリアにおいてホテル用地を取得いたしました。

また、京都5物件ホテルプロジェクト「ENSO ANGO(エンソウ アンゴ)」について運営準備及び接客スタッフの研修等、10月の営業開始に向けた準備を行いました。

不動産業界におきましては、都心部を除く首都圏の分譲マンション、分譲戸建の郊外物件は価格の高止まりが影響し、需要は減少傾向が続いております。都心部においてはほぼ横ばいの契約率を保っております。

投資用不動産市場では、木造収益不動産は弱含みとなっておりますが、RC造の1棟物件や区分所有マンション等については引き続き旺盛な状況が続いております。

当社グループでは、引き続き都心を中心に利便性立地を重視し、実需コンパクトマンション、投資用ワンルームマンション、実需戸建、収益物件の用地仕入に取組みました。

また、目黒区洗足において、老犬の一生涯預かりやオーダーメイドプランで愛犬をお預かりする老犬ホーム&ペットホテル「THEケネルズ東京」の営業を開始いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高3,757百万円(前年同期比11.3%減)、営業損失428百万円(前年同期は307百万円の損失)、経常損失673百万円(前年同期は419百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失482百万円(前年同期は298百万円の損失)となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は以下のとおりであります。

[マンション事業]

マンション事業におきましては、「ウィルローズ王子」等、合計23戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高1,291百万円(前年同期比47.7%減)、営業利益147百万円(前年同期比18.1%増)となりました。

[ホテル事業]

ホテル事業におきましては、当第1四半期連結累計期間における引渡実績はありません。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高33百万円(前年同期比6.9%増)、営業損失376百万円(前年同期は69百万円の損失)となりました。

[戸建事業]

戸建事業におきましては、「目黒区下目黒プロジェクト」、「渋谷区神山町プロジェクト」、「大和市下鶴間5期プロジェクト」等、分譲33戸、請負工事2戸、計35戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高2,237百万円(前年同期比42.5%増)、営業損失1百万円(前年同期は20百万円の損失)となりました。

[販売代理事業]

販売代理事業におきましては、自社開発及び他社開発物件の販売代理を行い、地域別の引渡実績は、東京都区部10物件17戸、東京都下1物件1戸、神奈川県2物件5戸、埼玉県1物件1戸、千葉県1物件2戸、合計15物件26戸となりました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高58百万円(前年同期比57.5%減)、営業損失62百万円(前年同期は24百万円の損失)となりました。

[建物管理事業]

建物管理事業におきましては、平成30年9月30日現在のマンション管理戸数が3,396戸となります。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高108百万円(前年同期比3.7%増)、営業利益14百万円(前年同期比19.5%減)となりました。

[その他]

その他としましては、不動産賃貸事業及びゴルフ練習場運営等による収入であります。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高43百万円(前年同期比302.9%増)、営業利益21百万円(前年同期は0百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ4,856百万円増加し、50,737百万円となりました。負債については前連結会計年度末から5,664百万円増加し、42,225百万円となりました。また、純資産については前連結会計年度末から808百万円減少し8,511百万円となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は以下のとおりであります。

資産の主な変動要因については、現金及び預金が1,151百万円減少、仕掛販売用不動産が5,714百万円増加、及び販売用不動産が535百万円減少したことによるものであります。

負債の主な変動要因については、有利子負債が7,185百万円増加、未払法人税等が996百万円減少、及び買掛金が401百万円減少したことによるものであります。

また、純資産の主な変動要因としては、利益剰余金が820百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年6月期の連結業績予想につきましては、第2四半期及び通期ともに、平成30年8月7日に公表した数値に変更はございません。

当第1四半期連結累計期間におきましては、第4四半期に全体の約7割の引渡が集中するため、契約進捗のお知らせをいたします。

当第1四半期連結会計期間末の物件販売における契約進捗については、以下のとおりとなります。

なお、ホテル運営・管理・その他の収入を除いた物件販売に係る売上高を基にしております。

物件販売に係る売上高 (通年予算)	契約進捗高	契約進捗率
45,478百万円	8,008百万円	17.6%

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,970,044	9,818,227
売掛金	20,893	16,271
完成工事未収入金	—	29,893
販売用不動産	7,600,604	7,065,234
仕掛販売用不動産	22,221,216	27,935,773
前払費用	571,742	723,242
その他	719,961	708,396
流動資産合計	42,104,463	46,297,040
固定資産		
有形固定資産	1,735,221	2,024,798
無形固定資産	7,703	6,595
投資その他の資産		
投資有価証券	610,057	661,737
破産更生債権等	218,929	218,889
長期貸付金	369,137	383,308
繰延税金資産	141,897	435,885
その他	927,712	953,766
貸倒引当金	△233,929	△244,415
投資その他の資産合計	2,033,803	2,409,172
固定資産合計	3,776,729	4,440,567
資産合計	45,881,193	50,737,607
負債の部		
流動負債		
買掛金	619,205	217,722
短期借入金	8,059,977	8,250,527
1年内返済予定の長期借入金	8,026,295	9,675,762
1年内償還予定の社債	1,290,800	1,390,800
未払金	286,583	240,600
未払法人税等	1,111,905	114,930
未払消費税等	62,160	44,975
前受金	591,838	623,217
賞与引当金	13,079	52,330
その他	364,179	260,997
流動負債合計	20,426,024	20,871,864
固定負債		
社債	267,000	350,000
長期借入金	15,247,823	20,412,573
繰延税金負債	413,319	417,163
その他	207,009	174,371
固定負債合計	16,135,153	21,354,108
負債合計	36,561,178	42,225,972

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	404,444	404,444
資本剰余金	1,350,673	1,350,673
利益剰余金	7,413,524	6,593,031
自己株式	△33	△33
株主資本合計	9,168,608	8,348,114
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	80,118	95,636
為替換算調整勘定	4,073	668
その他の包括利益累計額合計	84,191	96,305
新株予約権	67,214	67,214
純資産合計	9,320,014	8,511,634
負債純資産合計	45,881,193	50,737,607

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年7月1日 至平成30年9月30日)
売上高	4,237,290	3,757,562
売上原価	3,520,083	3,179,141
売上総利益	717,207	578,421
販売費及び一般管理費	1,024,964	1,007,238
営業損失(△)	△307,757	△428,816
営業外収益		
受取利息	6,564	3,361
受取手数料	2,752	3,055
為替差益	13,088	39,610
その他	3,492	13,188
営業外収益合計	25,897	59,215
営業外費用		
支払利息	86,768	125,916
持分法による投資損失	2,711	72,736
支払手数料	45,997	102,368
その他	2,062	2,761
営業外費用合計	137,540	303,784
経常損失(△)	△419,400	△673,384
税金等調整前四半期純損失(△)	△419,400	△673,384
法人税、住民税及び事業税	8,056	106,607
法人税等調整額	△129,135	△297,432
法人税等合計	△121,078	△190,824
四半期純損失(△)	△298,322	△482,560
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△298,322	△482,560

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年7月1日 至平成30年9月30日)
四半期純損失(△)	△298,322	△482,560
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,137	15,518
為替換算調整勘定	51	△3,404
その他の包括利益合計	3,189	12,113
四半期包括利益	△295,133	△470,446
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△295,133	△470,446

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	マンション事業	ホテル事業	戸建事業	販売代理事業	建物管理事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	2,470,279	31,123	1,569,906	50,082	105,063	4,226,455
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	86,370	—	86,370
計	2,470,279	31,123	1,569,906	136,453	105,063	4,312,826
セグメント利益又は 損失(△)	125,154	△69,780	△20,853	△24,566	17,781	27,735

(単位：千円)

	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高				
外部顧客への売上高	10,834	4,237,290	—	4,237,290
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	86,370	△86,370	—
計	10,834	4,323,660	△86,370	4,237,290
セグメント利益又は 損失(△)	△430	27,304	△335,061	△307,757

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゴルフ練習場運営等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△335,061千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△335,061千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年7月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	マンション事業	ホテル事業	戸建事業	販売代理事業	建物管理事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	1,291,887	33,257	2,237,348	42,469	108,948	3,713,911
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	15,570	—	15,570
計	1,291,887	33,257	2,237,348	58,039	108,948	3,729,481
セグメント利益又は 損失(△)	147,781	△376,601	△1,342	△62,887	14,314	△278,736

(単位:千円)

	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高				
外部顧客への売上高	43,651	3,757,562	—	3,757,562
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	15,570	△15,570	—
計	43,651	3,773,132	△15,570	3,757,562
セグメント利益又は 損失(△)	21,108	△257,628	△171,188	△428,816

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、ゴルフ練習場運営等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△171,188千円には、未実現利益の調整額等△6,000千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△165,188千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。